# 小児科

#### 1. 【一般目標(GIO)】

小児科及び小児科医の役割を理解し、適切に小児医療を行うために、小児の特性を学び、必要な基礎知識・技能・態度を修得する。

## 2. 【行動目標(SBOs)】

- 1 良好な病児・家族(特に母)医師関係の確立
- 2 チーム医療の実践を経験する
- 3 カルテの記載を正確に行い、問題点の抽出を行いそれに対して対策を立てられる
- 4 小児ことに乳幼児に不安を与えないように接し、保護者に対して指導医とともに適切な病状説明を行い、療養指導ができるようになる
- 5 小児の全身を診察し、緊急に対応が必要かどうかを把握し提示できる
- 6 小児疾患の理解に必要な症状と所見を正しく捉え、理解するための基本知識を修得する
- 7 必要な検査を選択し、その結果を正しく解釈できる
- 8 小児の採血、点滴、皮下注射ができる
- 9 小児の導尿、注腸・高圧浣腸、胃洗浄、腰椎穿刺、骨髄穿刺をできるかぎり経験する
- 10 小児に用いる薬剤(輸液)の知識と使用法、小児の体重別・体表面積別の薬用量の計算法を身につける

# 3. 【方略】

	【対応するSBOs】
1 小児科入院患者の担当医として、主治医である指導医とともに診療にあたる	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
2 小児科の主治医グループの一員として、チーム医療に参加する	1, 2
3 毎日上級医と一緒に回診を行い、その結果をカルテに記載する	1, 2, 3, 4
4 救急患者の対応・処置を上級医とともに行う	5, 8, 9
5 カンファランスや毎日の回診を通じて知識の習得を行う。また、コアカンファランスを行い知識を整理・発表する	2, 5, 6, 7
6 担当患者の検査計画を上級医とともに立案する	3, 5, 6
7 病棟、外来で上級医とともに処置に当たる	8, 9
8 上級医の指示のもと、実際に処方を行う	10

# 4. 【評価】

#### ①研修医に対する評価

①研修医に対する評価				
項目	評価者	時期	評価方法	【対応するSBOs】
担当した入院患者の疾患と患者数	指導医・コメディカル		退院サマリーのチェック ポートフォリオによる	6, 7
診療態度		研修中旬 研修修了時	フィードバックシート	1, 2, 4
関連手技	自己・指導医	研修中旬 研修修了時	ポートフォリオによるチェック	8, 9
カンファレンスでの症例提示	自己・指導医・コメディカル	毎週	口頭でのフィードバック	2, 5, 6, 7
学会発表・論文発表	自己・指導医	随時	学会発表・論文発表	6, 7

#### ②当該科に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの当該科への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

### ③指導医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの指導医への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

# 5. 【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前		採血など処置	朝病棟グループ回診	採皿など処直 カセスシ	病棟グループ回診 採血など処置 外来予診
午後				拘悚   カナダループ同談	病棟 入院カンファランス 抄読会

#### 6. 研修医の事前準備

小児科教科書のおさらい、カンファランス前に患者の要約を確認。毎週の週間サマリー記載。

【研修指導体制】 研修責任者: 森内浩幸

森内 浩幸、橋本 邦生、蓮把 朋之、里 龍晴、伊達木 澄人、中嶋 有美子、白川 利彦、伊藤 暢宏、木下 史子、舩越 康智、西口 奈菜子、渡辺 聡、佐々木 理代、谷岡 真司、林田 拓也、福永 啓文、西口 亮、大園 恵梨子 指 導 医:

コメディカル: 病棟師長、主任

# 8. 【緊急連絡先】

小児科医を通して連絡先を確認する